

## 旭川市行財政改革推進プログラム2020の進行状況

当プログラムは、第8次旭川市総合計画の施策の着実な推進及び財政面の補完を目標に、令和2年度から令和5年度までを推進期間として策定したものです。

限られた経営資源の中で効果的かつ効率的な行政運営を図るほか、将来に負担を先送りすることのない安定的で持続可能な財政運営を確立し、併せて多様な主体との連携・協働によるまちづくりを目指すなど、プログラム2016における取組状況を踏まえるとともに、行財政改革の4つの視点から、新たな取組も加えて、時代に即した市役所への転換を進めています。

これらの取組についての進行状況は、年に一度公表することとしており、令和3年度当初における取組内容は次のとおりです。

### 取組の進行状況

#### 実施件数

[ 該当件数 (割合) ]

区分	取組数	実施済み	予定どおり 進んでいる	予定より 遅れている	実施年度 未到来	実施不可
スマート自治体への転換	11	0	11	0	0	0
民間活力の活用	9	1	7	0	0	1
施設等の見直し	10	0	10	0	0	0
第三セクター等関係団体との関与の見直し	1	0	1	0	0	0
事務の見直し	2	0	2	0	0	0
市税等の収納率の向上	2	0	2	0	0	0
受益者負担の適正化	4	0	3	0	1	0
その他収入の確保	7	0	6	1	0	0
事業・補助金等の見直し	4	0	2	2	0	0
公共事業費等の抑制	3	0	3	0	0	0
特別会計繰出金の抑制	1	0	1	0	0	0
公営企業の経営の健全化	5	0	5	0	0	0
連携・協働によるまちづくり	9	0	8	1	0	0
職員の能力向上	4	0	4	0	0	0
組織力の向上	8	0	7	1	0	0
合計	80	1 (1.3%)	72 (92.3%)	5 (6.4%)	1	1

※ 実施年度未到来及び実施不可の件数は割合算出上の数値に算入していません。

#### 財源確保額

財源確保目標額 令和5年度当初予算編成までに 累計56億6千万円

[ 単位：億円 ]

項目	財源確保目標額	令和3年度当初予算
収入の確保	12.2	3.9
市税等の収納率の向上	1.7	0.0
受益者負担の適正化	0.0	0.0
その他収入の確保	10.5	3.9
支出の抑制	39.9	15.3
事業・補助金等の見直し	10.9	1.5
公共事業費等の抑制	22.2	11.5
特別会計繰出金の抑制	3.7	0.5
職員の能力向上（給与制度等の見直し）	2.8	1.7
組織力の向上（時間外勤務の管理の適正化）	0.3	0.1
財源対策の取組	4.5	6.5
<b>取組合計額</b>	<b>56.6</b>	<b>25.7</b>

※ 一般会計における取組を集計したものです。

**取組内容**

**行財政改革の視点1 効果的で効率的な行政運営**

**1 スマート自治体への転換**

**(1) ICT化の推進に関する基本方針の策定**

取組項目名	基本方針の策定		管理番号	1
所管部局	総務部（情報政策課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	ICT推進プラン(H24~H26)や情報化に関する重点的取組(H27~H29)以後のICT化推進に関する基本方針の策定について検討を開始した。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施			
実績	国の自治体DX推進計画が示す取組事項等を踏まえ、本市方針の基本理念や基本目標などを整理し、旭川市デジタル化推進方針案の要旨を固めた。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	意見提出手続を実施（令和3年6月~7月）後、旭川市デジタル化推進方針（素案）を策定する。			

**(2) ICTを利用した手続の拡大とサービス向上**

取組項目名	電子申請の利用拡大		管理番号	2
所管部局	総務部（情報政策課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室の引越ワンストップサービスの実証実験を行った。また、引き続き利用可能な手続等に対して簡易申請を中心に導入を進めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	市ホームページに各種手続きを集約し、効率化、利便性の向上を図るなど、ワンストップサービスの拡充に向けた取組に努めるとともに、電子申請の利用拡大に向け、旭川市ホームページのオンライン申請サイトをリニューアルした。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	マイナポータルを活用したワンストップサービスの拡充に向けた取組を進めるとともに、電子申請システムを各種手続の入口に位置付け、対象手続を追加し、利用拡大を図る。			

取組項目名	施設予約システムの利用拡大		管理番号	3
所管部局	総務部（情報政策課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	平成22年度から施設予約システムの新規導入を進めるとともに、導入済施設の継続利用を推進している。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	導入済施設の継続利用を推進するとともに、新たに子ども総合相談センター、緑が丘地域活動センター「グリーンバル」の2施設にシステムを導入した。また、本市ホームページ内の施設予約に係るページをリニューアルしたオンライン申請サイト内に移行し、利用促進を図った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	導入済施設の継続利用を推進するとともに、施設予約システムの利用拡大に向けた取組を実施する。			

取組項目名	多様な納付方法の導入		管理番号	4
所管部局	税務部（税制課、納税管理課） 市民生活部（市民課、地域まちづくり課、各支所） 経済部（旭山動物園） 上下水道部（料金課） 市立旭川病院事務局（医事課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<p>【市税及び国民健康保険料】 平成27年4月からコンビニ収納、令和元年7月からモバイル決済サービス（Pay B, LINE Pay）による納付を導入し、納税者の利便性の向上を図ってきた。</p> <p>【証明書等交付に際する手数料】 新庁舎建設基本計画（H29.1）における基本方針として、利用しやすい市役所に向け、来庁者の滞在時間の短縮を図るため、証明書等交付に際する手数料のキャッシュレス決済の導入を検討。</p> <p>【動物園入園料】 インバウンドを含めた来園者の利便性向上を図るため、コンビニやクレジットカード、電子マネーなど多様な納付方法について検討し、導入を図る。</p> <p>【水道料金及び下水道使用料】 利便性の高い支払方法を提供するため、平成25年6月からクレジット収納を開始、令和元年12月からモバイル決済サービスを開始した。</p> <p>【病院診療費】 受診者の利便性の向上を図るため、診療費等のスマートフォン決済（専用アプリで表示されるQRコードを使用した指定代理納付業務）による納付を検討してきた。</p>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>【市税及び国民健康保険料】 引き続き、コンビニ収納を実施。令和2年度も利用率が向上していることから納税者の利便性の向上が図られた。</p> <p>また、モバイル決済サービス（Pay B, LINE Pay）による納付を継続するとともに、令和2年4月からモバイル決済サービス（Pay Pay）による納付を拡充したことで、納税者の更なる利便性の向上が図られた。</p> <p>【証明書等交付に際する手数料】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、現金や職員との接触機会を減らすことで新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、納付方法の選択肢が広がることによる市民サービスの向上、事務処理の効率化や迅速化を図った。</p> <p>【動物園入園料】 入園券の対面販売用レジ及び券売機にキャッシュレス対応機器を導入した。</p> <p>【水道料金及び下水道使用料】 モバイル決済サービスについてPayB, LINE Payによる納付を継続するとともに令和2年4月からPayPay, 8月からauPayの取扱いを拡充したことで、使用者の更なる利便性の向上が図られた。</p> <p>【病院診療費】 モバイル決済サービスについて、R2年5月から、Line Pay, PayPay, auPay, d払い, mPay, WeChatPay, 支付宝の取扱いを開始したことで、受診者の更なる利便性の向上が図られた。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額 （当初予算時）				
今後の予定 （令和3年4月1日現在）	<p>【市税及び国民健康保険料】 令和3年4月からモバイル決済サービス（au PAY, 楽天銀行コンビニ支払いサービス, ゆうちょPay）による納付を拡充する。</p> <p>【証明書等交付に際する手数料】 キャッシュレス決済の利用率向上に向けた周知・促進するとともに、利用状況なども踏まえながら、東部まちづくりセンターや支所への導入を検討する。</p> <p>【動物園入園料】 導入したシステム、機器を継続稼働していく。</p> <p>【水道料金及び下水道使用料】 令和3年4月1日からモバイル決済サービス（ゆうちょPayなど）納付を拡充する。</p> <p>【病院診療費】 引き続き実施する。</p>			

取組項目名	証明書のコンビニ交付の利用促進		管理番号	5
所管部局	市民生活部（市民課） 税務部（税制課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	市民の利便性向上及び証明書交付事務の効率化を図るため、証明書コンビニ交付システムネットワークを構築し、マイナンバーカードを利用したコンビニでの各種証明書の交付を実施した。 令和元年6月に印鑑登録証明書及び住民票の写しの交付を先行して開始し、同年10月に所得課税証明書の交付を開始した。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	令和2年10月に戸籍全部（個人）事項証明書（戸籍謄本・戸籍抄本）及び戸籍の附票の写しの交付を開始した。また、本市ホームページへの掲載、PRポスターの掲示等によって、制度の周知と利用の喚起を図った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	マイナンバーカードの普及率向上の取組とコンビニ交付サービスの周知を継続することで、利用拡大を図る。			

取組項目名	マイナンバーカードの取得及び利用の促進		管理番号	6
所管部局	総務部（情報政策課） 市民生活部（市民課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカードの取得促進に向けた周知・広報に取り組んできた。</li> <li>平成30年9月から本庁及び支所において、タブレット端末を活用した無料写真撮影・オンライン申請補助を行い、申請しやすい環境を整備した。また、令和元年6月より、証明書のコンビニ交付を開始し、マイナンバーカード利用機会を増やした。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>マイナンバーカードの取得促進に向け、ホームページやリーフレット配布などの周知・広報や申請サポートに取り組むとともに、総合庁舎及び各支所にマイナポイント関連の窓口を設け、普及促進に努めた。</p> <p>旭川市周辺の企業や地域団体を対象としたマイナンバーカードの「出張申請」の受付を美瑛町、上川町、当麻町、東川町、愛別町、比布町、東神楽町、鷹栖町と共同で実施した。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやリーフレット配布などによる周知、広報の継続</li> <li>マイナポイント関連窓口の夜間開庁継続実施や申請サポートの充実</li> <li>マイナンバーカードの出張申請受付継続（緊急事態宣言下を除く）及び休日交付</li> </ul>			

取組項目名	オープンデータの公開と活用の促進		管理番号	7
所管部局	総務部（情報政策課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	企業や民間団体等に市の保有する公共データが共有されるよう、ホームページにオープンデータライブラリを公開した。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	簡易申請フォームを設け、庁内関係各課へオープンデータの活用を周知した。関係部署から申請された場合については、積極的にオープンデータとして公開した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き当該データの公開拡充に取り組む。			

取組項目名	業務案内の機能強化		管理番号	8
所管部局	総合政策部（広報広聴課） 総務部（管財課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者世代や国内外の観光客等への案内強化を図るため、ホームページのほか公式SNS等の広報媒体を活用し、積極的な情報発信に努めた。また、誰もが分かりやすく情報を入力することができるよう、ホームページの管理・運用に関する研修や、職員の広報力向上を目的とした研修を実施した。</li> <li>市民から頻繁に寄せられる問合せ内容等をデータ化し、随時情報を追加・修正して総合庁舎、第二庁舎の案内職員が共通で参照できるようにした結果、迅速で正確な案内ができるようになった。平成31年4月1日から、案内電話や音声案内装置を設置しつつ利用が少ない第三庁舎案内を廃止し、来庁者の利便性を維持・確保するとともに、案内業務の効率化を図った。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>広報誌のほか、ホームページや公式SNS等の各種広報媒体を活用し、継続して積極的に情報を発信した。広報力向上を目的とした職員研修を実施して職員の資質向上を図ったほか、ホームページの掲載情報をチェックするなど、業務案内の強化を図った。</p> <p>各部局の新しい業務内容や組織体制、市役所以外でよく質問される案内先の情報を盛り込む等、引き続き案内職員参照用ファイルの更なる内容の充実を図った。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会情勢の変化に対応しながら、引き続き、各種広報媒体を活用し、効果的な情報発信の強化に努めるほか、民間事業者と協働で新たにデジタルサイネージを導入するなど、情報発信手段の強化を図る。また、ホームページの管理・運用に関する職員研修等、職員の広報力向上に向けた取組を進める。</li> <li>各部局の新しい業務内容や組織体制、市役所以外でよく質問される案内先の情報を盛り込む等、引き続き案内職員参照用ファイルの更なる内容の充実を図る。また、第三庁舎警備員に係る業務見直しにより巡回頻度を減らし、庁舎案内業務の充実を図る。</li> </ul>			

(3) ICTの利活用による業務改善

取組項目名	業務改善の推進			管理番号	9
所管部局	総務部（総務課，情報政策課，行政改革課） 経済部（企業立地課） 各部局			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	新庁舎移転に向けた文書削減や，限られた人員で行政需要に対処するための業務効率化の取組を進める必要があり，AI-OCRやRPAの活用など，ICTの利活用による業務改善を推進するため，RPAの実証実験を進めるなどの取組を実施した。				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	実施	→	→	→	
実績	<p>電子決裁及び文書管理システム導入に向けて関係部課と検討を行うこととし，文書管理システムのデモンストレーションを受けた。</p> <p>職員の新たな連絡ツールとして，チャットを導入し，情報共有の効率化や，ペーパーレス化を実現した。AI-OCRやRPAの導入など，ICTの利活用による業務改善を推進し，一例として事業者向けセミナーの参加申請やアンケート集計等で作業効率化が図られた。また，新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため在宅勤務のICT環境を整備した。</p>				
進行状況	予定どおり進んでいる				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由					
財源確保額額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子決裁及び文書管理システム導入に向けた検討，文書の在り方についての整理</li> <li>電子契約の実証実験実施</li> <li>RPA，AI-OCRの導入拡大</li> <li>電子申請・施設予約システムの利用促進</li> <li>びったりサービスの拡充</li> <li>チャットシステムの取組の充実</li> </ul>				

取組項目名	新庁舎に向けたICT化の検討			管理番号	10
所管部局	総務部（管財課、庁舎建設課、行政改革課、情報政策課） 市民生活部（市民課） 各部局			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年の新庁舎への移転を機会として、ペーパーレス化や業務効率化の視点から、ICT化を検討。庁内関係各課から、運用しているシステム等の情報を集約し、運用面における効率化、移転に際しての役割を検討</li> <li>新庁舎建設基本計画（H29.1）における基本方針として、利用しやすい市役所に向けて総合窓口及び窓口支援システムの導入を行うことにより、待ち時間の短縮や事務処理の効率化を図るためのシステム導入に当たり、関係課でWGを組織し、検討事項等を整理</li> <li>新庁舎の各フロアに設置する会議室等の適正かつ効率的な活用のため、また、貸出共用車の予約状況を可視化しさらなる有効活用を図るため、ICTを活用した予約システムの導入等について検討が必要</li> </ul>				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	検討	→	→	実施	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庁舎総合窓口化を見ずえた窓口支援システムを先行導入し、各種届出にかかる時間短縮やフストップ化を図り、市民と職員との接触の機会を低減するとともに、混雑解消を図った。</li> <li>ペーパーレス会議導入に向けて、モバイルPC購入や会議システム導入に向けた検討を行った。</li> <li>地元業者と協定を結び、プリンタの稼働状況の分析等を行うなど、印刷機器の配置の見直しに取り組んだ。</li> <li>会議室予約システムの導入に係る課題を把握し、導入の可否や運用ルールについて検討を行った。</li> <li>公用車について、配車予約を試験的に行い、キャンセル待ち・空き状況を施設予約に表示することとした。</li> <li>入退室管理に導入するICカードについて関係課と検討した。</li> </ul>				
進行状況	予定どおり進んでいる				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由					
財源確保額額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合窓口化に向けた窓口支援システムの効率的な運用や課題等について、各部局の意見を踏まえ、検討する。</li> <li>ペーパーレス会議を実施（モバイルPC購入、会議システム導入）する。</li> <li>プリンタの適正配置と複合機への転換を検討する。</li> <li>会議室について、運用上の課題を踏まえ、予約システムの活用を含めた効率的な運用ルールの策定に向けて検討する。</li> <li>公用車の有効な予約スキーム構築のため、システム導入を検討する。</li> <li>ICカード及び会議室予約システムの仕様について検討する。</li> </ul>				

取組項目名	基幹系業務システムの最適化			管理番号	11
所管部局	総務部（情報政策課）			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	「旭川市業務システム最適化計画」を策定し、業務遂行、システムの維持が困難になるのを未然に防ぎ、システムの統合や一元化、業務運営の簡素化等を行った。				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	検討	→	→	実施	
実績	<p>国による地方自治体の業務システム標準化について、「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」で示され、これを踏まえた適切な業務システム最適化の実施を検討し、令和5年度以降最適化するスケジュール（案）を検討した。</p> <p>また、令和3年度に実施すべき取組内容を整理し、外部知見の活用も含めた具体的な実施内容を整理した。</p>				
進行状況	予定どおり進んでいる				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由					
財源確保額額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	庁内システムの全体俯瞰図を整理し、今後目指すべき業務システム最適化後の姿を可視化し、最適化計画を改定する。				

## 2 民間活力の活用

### (1) 指定管理者制度の導入拡大

取組項目名	社会教育施設等への導入	管理番号	12	
所管部局	社会教育部（文化振興課、公民館事業課、中央図書館、科学館、博物館） 市民生活部（市民活動課）	財源確保目標額	—	
令和元年度までの経過や背景	<p>【彫刻美術館】 市内に専門的知識等を有する受託候補者が無く、導入は困難と考えており、隣接する井上靖記念館との一体発注による管理委託経費の削減を図った。</p> <p>【市民文化会館】 業務ごとに行っている委託契約の内容や手法について整理し、新年度の委託契約に向けてより効率的に業務を委託できるよう検討・準備を行ってきた。</p> <p>【大雪クリスタルホール】 市民サービスの向上と効率的な施設運営のため、利用者等対応業務のほか、ホールの使用申請受付や使用料の取扱い、ホール情報誌や案内表示の作成、施設内各部署への連絡調整など、円滑な施設利用に必要な各種対応業務を行ってきた。令和元年度の新規契約では、使用料収納から徴収業務への変更、コンサートボランティア等の外郭団体に係る業務の一部追加などを行った。</p> <p>【公民館】 平成22年度に西神楽公民館、平成26年度に春光台公民館に導入したところであるが、その後も公民館を設置している地域の意向や受入体制の整備状況を確認しながら、他の公民館への導入拡大に向けた検討を行ってきた。</p> <p>【図書館】 運営体制について、他都市の状況や委託可能な直営業務等に関する調査研究を行った。</p> <p>【科学館】 施設の指定管理については、札幌市、釧路市など他都市での取組事例があることから開館当初より導入を検討しており、当初、運営協力関係にある「サイエンスボランティア旭川」が指定管理の受け皿となることを期待していたが、会員の高齢化や会員数の減少等により科学館運営を担えるほどの団体にはなっていない。また、市内・近隣市町村に受け手となり得る科学館経営のノウハウを持つ団体・企業等を見つけれられていない。</p> <p>【博物館】 複合施設である旭川市大雪クリスタルホール内にあり、博物館単独での導入には財源的なメリットがなく、博物館の学芸業務の特殊性、受け皿となる団体などが無いことから導入できていない。</p> <p>【東旭川農村環境改善センター】 公民館が併設されており、効率的な運営には、公民館を含めた一体的な運営を行える者が受け皿になる必要があると考えられることから、地域における受け皿の有無について検討してきた。</p>			
作業工程	検討	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	<p>【彫刻美術館】 隣接する井上靖記念館との一体発注による管理委託経費の削減に努めた。</p> <p>【市民文化会館】 委託契約の更新に際し、令和元年度までの検討結果をもとに効率的な業務委託を行うとともに、業務の履行状況を確認し、支障となる点等がないか、業務受託者と随時調整にあたった。</p> <p>【大雪クリスタルホール】 令和元年度から引き続き、利用者等対応業務を委託してきた。また、現在の業務の見直しや今後の運営手法及び取組等について、指定管理者制度の導入に向けた方向性の検討を行ってきた。</p> <p>【公民館】 指定管理者制度未導入の公民館設置地域の状況把握・調査</p> <p>【図書館】 指定管理者制度について、他都市の導入状況や、道内導入自治体の運営体制等を調査し、課題の把握等を行った。</p> <p>【科学館】 導入の可能性について検討。</p> <p>【博物館】 他都市の導入状況や、道内導入自治体の運営体制等を調査し、課題の把握等を行った。</p> <p>【東旭川農村環境改善センター】 地域には指定管理者制度の受け皿となる意向がないことを確認した。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<p>【彫刻美術館】 井上靖記念館との一体発注により引き続き経費の削減を図るほか、指定管理業務に移管可能な直営業務について課題を整理し、指定管理者の運営体制も含めて協議、検討を進め、施設管理の柔軟な運用を図る。</p> <p>【市民文化会館】 文化会館の整備の方向性や在り方の整理検討をより進めることと合わせて、制度の導入に向けた取組についても進めていく。</p> <p>【大雪クリスタルホール】 令和2年度同様、今後の運営手法及び取組等について、指定管理者制度の導入に向けた方向性の検討を行っていく。令和4年度には、その方向性が決定出来るように、努める。</p> <p>【公民館】 引き続き、指定管理者制度未導入の公民館設置地域の状況把握・調査を行う。</p> <p>【図書館】 指定管理者制度の導入等について、中核市や道内主要都市に照会を行い、メリット・デメリット等を整理し、市民サービスの向上と効果的な行政運営の観点から、旭川市図書館として最適で持続可能な運営形態について検討を進める。</p> <p>【科学館】 導入条件の整理や運営経費や採算のとれる観覧料の試算など制度導入に向けた検討・調査を行う。</p> <p>【博物館】 博物館の学芸業務、各種事業の実施、関係団体等との良好な関係維持等を考慮しながら、制度導入に関する検討を行う。</p> <p>【東旭川農村環境改善センター】 引き続き、制度の受け皿となる者の有無について検討を継続する。</p>			



取組項目名	指定管理者制度運用ガイドラインの見直し	管理番号	13	
所管部局	総務部（行政改革課）	財源確保目標額	-	
令和元年度までの経過や背景	平成28年4月に指定管理者制度運用ガイドラインを策定し、募集要項や業務仕様書等のひな形、管理運営に関する評価の指針、選定委員会における外部委員の割合や選定基準など、適宜見直しを行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討・実施	→	→	→
実績	指定管理者制度導入施設の評価要素に施設設置目的の達成状況を加えるなどの見直しを行ったほか、制度の運用状況に合わせてガイドライン等の見直しを検討した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、指定管理者制度の運用状況を整理し、適宜見直しを行う。			

## (2) 業務委託の拡大

取組項目名	窓口業務の委託	管理番号	14	
所管部局	総務部（行政改革課） 市民生活部（市民課）	財源確保目標額	-	
令和元年度までの経過や背景	国において、民間に委託可能な窓口業務の範囲を整理し、ガイドラインを作成するなどの取組を促進している。その流れを受けて、窓口業務を受託可能な者からの意見聴取や先進地を視察したほか、総合窓口機能等検討ワーキンググループを設置し、新庁舎建設、総合窓口化を見据えた検討を行ってきた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	→	実施
実績	総合窓口機能等検討ワーキンググループからの報告書及びコロナ禍への対応から、窓口支援システムを先行導入した。また、事業者との意見交換など情報収集に努めた。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	総合窓口の機能整理と委託を含めた組織体制、窓口支援システムの拡充を検討する。			

取組項目名	東旭川学校給食センターの調理委託等の検討		管理番号	15
所管部局	学校教育部（学校保健課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	平成29年度に他市の状況等調査を行い、東旭川学校給食センターについては改築後2年程度は直営で運営し、ノウハウを蓄積した後に委託を検討することとしている。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	→	実施
実績	費用面での検討を行うため、事業者から参考に見積りを徴収し、直営の場合との違いなどを検討した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	費用面の検討のほか、学校等関係者と実施手法の検討を進める。			

取組項目名	その他業務委託の拡大		管理番号	16
所管部局	上下水道部（浄水課） 選挙管理委員会事務局 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度までは、石狩川浄水場・忠別川浄水場共に運転管理業務について、直営で実施してきたが、職員の確保が困難になってきたことから、平成29年度～令和元年度の3年間、忠別川浄水場の夜間の運転管理業務について、委託を実施した。</li> <li>議会において、選挙事務における学生アルバイトの活用について質疑があり、検討することとした。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	検討・実施	→	→
実績	<p>令和2年7月より忠別川浄水場の運転管理業務委託の範囲を、夜間から休日及び平日夜間に拡大した。更に石狩川浄水場の休日夜間の運転管理業務を含め、業務委託の範囲拡大に向けてプロポーザルの実施、契約締結並びに習熟研修を実施した。</p> <p>令和2年度以降に執行される選挙において学生アルバイトを活用するための検討及び大学等との協議を行った。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転管理業務について、次回（令和6年度～）の発注に向けて、現在の委託内容について精査し、検討を行う。</li> <li>令和3年度に執行される選挙において、旭川大学に期日前投票所を設置し、投票所の運営に学生に当たらせるほか、開票作業の一部において市内の大学等の学生をアルバイトとして活用する予定</li> </ul>			

(3) その他民間活力の活用

取組項目名	駅前広場における管理手法の見直し		管理番号	17
所管部局	地域振興部（地域振興課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	管理手法の見直しにあたり、旭川駅前広場における維持管理体制について、直営作業や委託業務の課題等の整理を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	前年度に引き続き、課題等の整理を進め、関係部局と協議を行った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	今後も関係部局と協議を行い、旭川駅前広場の効率的な管理運営体制の検討を進める。			

取組項目名	市営住宅における管理運営手法の見直し		管理番号	18
所管部局	建築部（市営住宅課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	平成29年7月から修繕受付業務及び収入申告送回収業務を委託した。令和元年度からは、さらに退去立会業務と入居者募集受付業務を委託するとともに、契約期間を単年度契約から3年間の複数年とした。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	現在の委託契約終了後の令和4年度以降の管理運営手法の検討に向けて、他都市の管理運営手法について、情報を収集した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	1千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和3年度中に令和4年度以降に委託する業務内容など管理運営手法を決定する。			

取組項目名	都市公園における民間活力導入の検討		管理番号	19
所管部局	土木部（公園みどり課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	平成29年の都市公園法改正でPark-PFIが創設されたことに伴い、公園施設の在り方としてPark-PFI活用の可能性の検討を進めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	都市公園におけるPark-PFI等の民間活力導入の検討に当たり、サウンディング型市場調査を実施した。調査の結果、Park-PFI等を活用した施設の整備や管理運営は现阶段では困難であると判断した。			
進行状況	実施済み			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	今後は従前の制度を活用した試行的事業の検討や、他都市の状況の情報収集等による調査研究を進める。			

取組項目名	次期清掃工場の整備におけるPFI等の検討		管理番号	20
所管部局	環境部（清掃施設整備課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	H31.4に策定した「旭川市清掃工場整備基本構想」において、清掃工場を新設することとし、次期清掃工場の整備・運営における事業方式の選定については、施設整備内容を具体化する基本計画の策定とともに、旭川市PFI活用指針に基づき、詳細な調査・検討を行うこととした。 また、焼却処理により発生するエネルギー（熱・電気）は、場内や隣接施設で利用し、余剰電力は売電することを基本としつつ、電力系統の空き容量不足が課題であったことから、一般送配電事業者との協議と並行し、売電の代替案として自営線による電力供給に係る実現可能性調査を実施した。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	
実績	電力系統の空き容量不足に対する協議や検討に時間を要し、スケジュールが遅延したことや、整備コストの高騰などにより基本構想どおりの施設整備の見通しが立たない状況となったことから、実現可能な施設整備に向けて事業の方向性を整理した。 その結果、清掃工場の新設を見直し、現清掃工場を再延命化することを基本とする方向で整理を行い、令和3年度中にこのことを基本方針として取りまとめることとしたことから、旭川市PFI活用指針に基づく検討は行っていない。			
進行状況	実施不可			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由	上述のとおり、状況の変化を踏まえたごみ処理施設整備の方向性を見直しを行い、清掃工場を新設から現清掃工場の再延命化を基本とする方向で整理したため。			
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	施設整備の方向性見直しに伴い、次期清掃工場の整備におけるPFI等の検討は実施しない予定である。			

### 3 施設等の見直し

#### (1) 施設の適正配置等の推進

取組項目名	公共施設マネジメントの推進		管理番号	21
所管部局	総合政策部（財政課） 総務部（公共施設マネジメント課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画（平成28年2月策定）を策定し、その後、計画に基づく取組を具体的にまとめた第1期アクションプログラムとして、本編（平成30年3月策定）、施設再編計画（平成31年2月策定）、施設保全計画（平成31年3月策定）を策定し、施設保有量の最適化等の取組を進めた。</li> <li>総務省が示す統一的な基準による財務書類の作成に合わせて、固定資産台帳を毎年度更新している。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画 第1期アクションプログラムの進捗状況を整理するため、令和2年度版の施設再編計画と施設保全計画表取組状況を作成するとともに、公共施設等総合管理計画の改訂に向け、内容の検討を行った。</li> <li>また、施設再編の取組として、西神楽農業構造改善センターの増改修工事を実施し、西神楽支所、西神楽公民館の機能を同センター内に移転し、西神楽市民交流センターとして、令和3年3月8日に供用開始した。</li> <li>固定資産台帳を更新した。</li> </ul>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画について、令和3年度が計画の更新年に当たることから、国から提示のあった計画策定に係る改訂指針等を踏まえ、令和3年度末までに計画を改訂する。また、計画に基づく施設保有量の最適化等の取組を進めるとともに、各計画の進捗状況を把握するため、年度版の施設再編計画及び施設保全計画表取組状況を作成する。</li> <li>引き続き、固定資産台帳の予算編成等への活用について検討する。</li> </ul>			

取組項目名	道路アセットマネジメントの導入		管理番号	22
所管部局	土木部（土木事業所、土木総務課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	道路ストック点検として、橋りょう点検などを実施し、土木施設の現況把握に努めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	道路ストック点検として、橋りょう点検や道路照明点検などを実施し、土木施設の現況把握を進めた。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き道路ストック点検を推進し、道路アセットマネジメントを盛り込んだ計画を策定する。			

取組項目名	地域集会施設の見直し		管理番号	23
所管部局	総務部（公共施設マネジメント課） 市民生活部（市民活動課） 観光スポーツ交流部（スポーツ課） 社会教育部（公民館事業課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画 第1期アクションプログラムの中で、重点的に取り組む課題としている地域集会施設について、施設の効率的な活用を図るため、「地域集会施設の活用方針（平成31年2月策定）」及び「地域集会施設の活用に関する実施計画（令和元年8月策定）」を策定し、貸室の面積区分に応じた使用料の設定や施設の運用の見直しについて検討を行った。</li> <li>施設が老朽化している西神楽公民館の移転先として西神楽農業構造改善センターを選定し、移転の方法や時期等について協議を行った。</li> <li>地域集会施設における施設利用料金の共通化に向けた公民館使用料の改定及び公民館における飲食の取扱いの見直し等を検討した。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域集会施設の活用に関する実施計画」に基づき、地域集会施設を対象に、令和2年4月より、貸室の面積区分に応じた使用料を設定するとともに、年末年始の休館日の共通化を図り、公民館における飲食の取扱いの見直しを実施した。また、公民館の位置付けの見直しについて、所管する社会教育部において、専門検討会を立ち上げ検討を行った。</li> <li>老朽化していた西神楽公民館を西神楽農業構造改善センターの講堂に移転し、機能集約した（令和3年3月8日供用開始）。</li> <li>東地区体育センターについては、感染症対策として換気改修工事を行い、施設の機能向上による効率的・効果的な運用を図った。</li> </ul>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域集会施設の活用に関する実施計画」に基づく取組の実施に向け、公民館の位置付けの見直し等に関する検討を行う。</li> <li>料金の上昇率が上限の1.5倍を超えたため、令和2年度の改定で共通使用料に達していない貸室（農村地域センターの一部）について、次回の改定に向け引き続き検討する。</li> <li>利用者が安心して使用できるよう感染症対策を行いながら、利用率向上に努める。</li> </ul>			

取組項目名	市立保育所の設置の見直し		管理番号	24
所管部局	子育て支援部（こども育成課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	平成28年2月に策定した「市立保育所の在り方及び市保育士の人材育成に係る方針」に基づき実施した取組等の進捗状況について、子ども・子育て審議会等で整理を行ってきた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	「旭川市の保育と市立保育所の今後の在り方」の策定に向け、子ども・子育て審議会の検討部会で検討した。また、地域保育所（2か所）を閉所した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	「旭川市の保育と市立保育所の今後の在り方」を策定し、今後の市立保育所の方向性を決定する。			

取組項目名	市営牧場の在り方の検討		管理番号	25
所管部局	農政部（農業振興課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	近年では人件費や資材費の高騰等により、育成牛等の受入れの増加による収支改善が困難な状況となってきたことから、平成30年度以降、市内及び近郊のみの受入れとし、最小の規模で運営することにより収支改善を図ってきた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	引き続き、市内畜産農家の需要に対応することを最優先とし、必要最小経費での運営に努めるとともに収支改善に向けて検討する。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、市内畜産農家の需要に対応することを最優先とし、必要最小経費での運営に努めるとともに収支改善に向けて検討する。			

取組項目名	児童遊園の見直し		管理番号	26
所管部局	土木部（公園みどり課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	法改正に伴う開発行為による公園設置義務の基準緩和を考慮し、公園設置基準について関係機関と協議、見直しを進めた。また、面積が狭い等の理由で利用頻度が少ない児童遊園を抽出し、遊園の売却に向け、地元合意を得るための準備を進めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	公園施設長寿命化計画の計画更新に合わせ、市内の公園の誘致距離を指標とした重複状況等の調査を行った。その結果、都市公園と児童遊園の配置関係や施設の老朽化状況等を踏まえた上で、今後のその地域における公園のあり方について検討する必要があることが判明した。そのため、単純に児童遊園を手放すのではなく、地域ニーズに応じた公園づくりを進めるため慎重に児童遊園の見直しを進めていく。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	今後の児童遊園の見直しを進める上で、正確な施設状況等の把握は必要不可欠である。令和3年度は、市内にある全児童遊園の現地調査を行い、既存の児童遊園台帳の更新を行う。			

取組項目名	小・中学校の適正配置の推進		管理番号	27
所管部局	学校教育部（教育政策課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	児童生徒のより良い教育環境を整備するため、平成27年度から15年間を計画期間とする「旭川市立小・中学校適正配置計画（令和2年3月改定）」を策定し、市立小・中学校の統廃合や通学区域の見直しに取り組んでいる。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	卒業生の進学先中学校が複数に分かれていた旭川小学校及び愛宕東小学校について、それぞれ進学先の中学校が1校となるよう、関係する学校の通学区域を見直した。 また、同様に、旭川第5小学校の卒業生の進学先中学校が複数に分かれる状況を解消するため、旭川第5小学校の通学区域を見直した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	第2期対象校（第1期に未了となった統廃合及び通学区域の見直しを含む。）の統廃合及び通学区域の見直しを行う。			

## (2) 試験研究機関の見直し

取組項目名	工芸センターの運営方法の見直し		管理番号	28
所管部局	経済部（工芸センター）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	業界ニーズの変容により、企業からの開発技術相談や製品性能試験が主体になりつつある。近年は各業界から実態調査等で多く寄せられている人材育成の要望について、ものづくりの幅広い知識習得と製作技術の向上を目的とした講習会や技能五輪出場選手の受入研修を実施するなど、将来の家具業界の主軸となる技術者の育成に取り組んでいる。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	本市のデザイン行政を含めた地域の取組を後押しするため、各業界からの要望が多い新人技術研修や、複雑な加工が可能なNCルータ実験機の更なる普及を目的に、CAD/CAMソフト実技研修を開催した。また、公的試験研究機関として、コロナ禍の製品開発を後押しするため、アクリルパネルの加工に対応できるよう機器の整備を行った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、工芸センター運営協議会の意見や地域の木工芸及び窯業業界・企業のニーズ等を踏まえて、果たすべき役割や支援内容、運営手法を検討する。なお、支援に当たっては、他の産業支援機関と連携して取り組む。			



取組項目名	工業技術センターの運営方法の見直し		管理番号	29
所管部局	経済部（産業振興課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	技術相談・技術指導に加え、企業訪問を通じて業界の支援ニーズの把握に努め、関係機関と共催で講習会を開催するなど、関係機関との強化を図ることに取り組んでいる。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	業界からの支援ニーズやセンターの設備・人材を踏まえて、今後のセンターの役割や支援のあり方について検討を進めた。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	業界からの支援ニーズやセンターの設備・人材を踏まえて、他支援機関との連携も視野に入れながら、センターの担うべき役割や支援内容、運営手法の見直しについて検討する。			

取組項目名	農業センターの運営方法の見直し		管理番号	30
所管部局	農政部（農業センター）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	農業センターの運営に当たっては、これまで農家を支援するための効果的・効率的な手法、敷地内公園の管理手法、体験農園における取組等について検討し改善を図ってきたところであるが、更に農業センターの担うべき役割を整理し、支援内容や運営方法等について検討することが求められている。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	今後の農業センターの方向性を整理するとともに、その内容について農業センターの運営を円滑に推進するために開催する旭川市農業センター運営懇話会で意見交換等を行った。また、敷地内公園の管理方法を検証し、管理体制の効率化を図った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	1,253千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	今後の農業センターの方向性や具体的な取組計画を整理するとともに、旭川市農業センター運営懇話会において意見交換等を行い、農業センターの支援内容や運営方法等の検討を行う。			

4 第三セクター等関係団体との関与の見直し

(1) 第三セクター等関係団体との関与の見直し

取組項目名	第三セクター等関係団体との関与のあり方の検討			管理番号	31
所管部局	総務部（管財課、行政改革課） 福祉保険部（福祉保険課） 経済部（経済総務課、産業振興課、経済交流課） 観光スポーツ交流部（スポーツ課） 土木部（公園みどり課） 上下水道部（総務課）			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<p>【(株)旭川振興公社】                      第三セクター等が抱える課題等の把握に努めた。これまでの懸案事項への対応に加え、新たに飲食店の経営事業を始めるなど公社の事業拡大や充実を図る上で、本市との更なる連携強化が必要との考えから、常勤役員を市退職者の2名体制とした。また、振興公社ビル建設資金分及び大雪アリーナ建設用地分については、償還計画に基づき計画的に削減している。</p> <p>【(株)旭川保健医療情報センター】                      経営基盤の強化に向けた業務受注状況や経営状況を適宜把握してきた。また、令和元年度には一部株主から、株式売却の申出があり、経営に大きな影響を及ぼさない範囲で自己株取得を行ったことについて報告を受けるとともに、利益剰余金の中から配当金を受領している。市の退職者派遣の見直しに関わっては、同社と課題認識は共有しているものの、法人としての将来展望を踏まえると、継続して市退職者の派遣が必要な状況との判断から、引き続き市の退職者の推薦手続を行っている。</p> <p>【(一財)旭川市勤労者共済センター】                      繰越金額の適正化に取り組んでおり、平成29年度以降は繰越金が発生していない。また、新規会員獲得のために、市の広報誌で周知するなど、経営の安定化に向けた支援を実施した。</p> <p>【(一財)道北地域旭川地場産業振興センター】                      (一財)道北地域旭川地場産業振興センターに対する補助金については、以前より補助金額の減額を進めており、旭川市行財政改革推進プログラム2016年の期間内に6,600千円の財源確保ができた。また、平成30年度にプロパーの常勤役員が退職し、当該職を担う適任者がいないことから、現職の市職員を派遣している。</p> <p>【(一財)旭川産業創造プラザ】                      これまで補助金の支出や職員の派遣を通じて安定的な経営の維持に向けた支援を行っているが、北海道からの貸付金の貸付期間短縮(10年→5年)や低金利等により資産運用による資金確保が厳しい状況にある。</p> <p>【(公財)旭川市スポーツ協会】                      財政基盤や組織力の強化・安定を図るため、次の取組を行った。                      ・平成29年度からは事務局長、令和元年度は総括参事の現職派遣を行い組織改革等を行った。                      ・スポーツ推進役としての存在意義を高めるため、令和元年度からの新規・重点事業である「アスリート発掘・養成事業」の委託先とし、同協会でも公益事業として取り組んでいる。                      ・より効率的かつ効果的な大会・事務局運営のため、令和元年度からバーサー事務局を同協会に完全移管した。</p> <p>【(公財)旭川市公園緑地協会】                      指定管理者の公募制拡大について、令和元年度の更新に合わせ、民間事業者が公募しやすい公園管理区分とした結果、民間事業者の指定管理者が1事業者増えた。</p> <p>【(一財)旭川市水道協会】                      公益的見地を保持した事業運営を継続することは、本市上下水道事業の持続的経営に不可欠であり、派遣を継続してきた。</p>				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	検討	→	実施	→	
実績	<p>【(株)旭川振興公社】                      課題や、経営状況等の把握に努めた。振興公社ビル建設資金分及び大雪アリーナ建設用地分については、償還計画に基づき、計画的に削減している。懸案事項の対応や飲食店事業の展開など公社事業拡大や充実を図るため、本市との連携強化が必要ことから、引き続き市退職者による常勤役員2名体制とした。常勤役員への市退職者派遣の在り方について、公社職員の育成による内部登用の可能性や懸案事項の処理状況を見極めながら、引き続き見直しについて検討していく。</p> <p>【(株)旭川保健医療情報センター】                      病院からの健診システムの新規受注やシステム更新、自治体からのシステム改修業務について当初計画を上回る実績を得るなど、第三セクター等として安定した経営を模索する取組がみられた。また、令和2年度においても、利益剰余金の中から配当金を受領した。</p> <p>【(一財)旭川市勤労者共済センター】                      市内中小企業数の減少が想定されることから、現行の体制の維持に必要な会員数の確保が困難となった場合の事業運営のあり方について検討した。</p> <p>【(一財)道北地域旭川地場産業振興センター】                      令和3年度の補助金は、令和2年度と比較して1,000千円減額した。</p> <p>【(一財)旭川産業創造プラザ】                      運営資金については現状に大きな変化はなく、令和3年度も補助金額を据え置いた。一方で、職員派遣については令和2年度に7名から6名とし、令和3年度も継続した。</p> <p>【(公財)旭川市スポーツ協会】                      令和元年度に引き続き、「アスリート発掘・養成事業」を委託し、指導者や保護者等を対象とした講演会や実技指導を実施したほか、会計研修等の職員研修を実施し、スポーツ推進や人材力向上を図った。</p> <p>【(公財)旭川市公園緑地協会】                      次期指定管理者更新に向けて、指定管理者連絡協議会の開催等により民間事業者の育成を推進した。</p> <p>【(一財)旭川市水道協会】                      第三セクター等に対する行政の関与の方針に関する運用等に基づき、人事異動に伴う役員等の変更を行った。</p>				

進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額 (当初予算時)		1,000千円		
今後の予定 (令和3年4月 1日現在)	<p>【(株)旭川振興公社】 関与の在り方見直しに向けた調査を実施し、結果を基に各団体ごとの見直し方針を固める。振興公社ビル建設資金分及び大雪アリーナ建設用地分については、今後も償還計画に基づき、計画的削減を進めていく。常勤役員への市退職者派遣の在り方について、公社職員の育成による内部登用の可能性や懸案事項の処理状況を見極めながら、引き続き見直しについて検討していく。</p> <p>【(株)旭川保健医療情報センター】 これまでに蓄積した保健医療分野のソフト開発等に係る技術やノウハウを市場で生かすことなどにより、一層自立的な運営を促すとともに、市の基幹系業務システムの全体最適化、庁舎移転、ガバメントクラウドを見据えた経営見直しを把握しながら、同社の将来的な在り方についても関係部局と連携して協議する。今後の経営環境の変化を見据えた中で、プロパー職員の代表取締役への登用の可能性を見極める。</p> <p>【(一財)旭川市勤労者共済センター】 引き続き経営の安定化に向け、センターの周知を支援するとともに、新規会員の確保や現会員の維持に効果的な事業について検討する。</p> <p>【(一財)道北地域旭川地場産業振興センター】 運営状況を見ながら補助金額の削減について引き続き検討する。</p> <p>【(一財)旭川産業創造プラザ】 運用益の範囲内で最大限の事業効果を上げるための手法を検討するなど、財団との協議を進める。</p> <p>【(公財)旭川市スポーツ協会】 指定管理業務や市関連業務に加え、新たな財源確保の検討や経費の節減など、効率的な運営や安定的な経営を目指す。職員の資質向上や人材育成を図るため、職員研修の開催や効果的な人員配置など、組織体制の見直しに継続して取り組む。</p> <p>【(公財)旭川市公園緑地協会】 指定管理者連絡協議会において、情報交換や公園管理に関する方法を共有し、人材不足が進行する中で民間事業者育成を図りながら市民サービスの向上や経費縮減に向けた取組を推進する。常勤役員の選任については、公園管理にコスト縮減や効率性が求められているため、協会内部の課題解決に向けた取組の継続性が必要であることから、市職員退職者の派遣を継続する。</p> <p>【(一財)旭川市水道協会】 引き続き派遣員活用について検討する。</p>			

## 5 事務の見直し

### (1)事務の見直し

取組項目名	工事契約事務の見直し		管理番号	32
所管部局	総務部（契約課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<p>工事契約は、かつては全国的にダンピング受注が多発したことで履行品質が懸念され、その改善が求められてきた経過があり、本市でもこれまで一般競争入札での郵便入札の実施や低入札価格調査制度、最低制限価格制度、総合評価方式などを導入し、公平・公正な入札手続の実施や履行品質の確保を図ってきた。</p>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	<p>総合評価方式を拡大し、本市が発注した災害復旧工事や総合除雪維持業務の実績を評価する地域貢献特別簡易型、舗装特別簡易型を設けた。 また、入札・開札業務の効率化を目指し、電子入札システムの導入について検討した。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額 (当初予算時)				
今後の予定 (令和3年4月1日現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子入札の導入について具体的スケジュールや業者選定の方法を検討</li> <li>電子契約の実証実験実施</li> </ul>			

取組項目名	事務改善の推進		管理番号	33
所管部局	総務部（行政改革課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	事務の簡素化や効率化の観点から内部規定の見直しを進めたほか、文書事務の電子化の検討を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討・ 実施	→	→	→
実績	業務改善のノウハウを持つコニカミノルタ(株)と連携協定を結び、業務を可視化・定量化するための取組を行ったほか、児童手当現況届業務について、業務プロセスの再構築（BPR）に向けて、業務詳細分析調査を実施した。また、職員間のチャットツールやRPA、AIOCRも導入した。また、電子決裁や文書管理システムの導入について検討した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額 (当初予算時)				
今後の予定 (令和3年4月 1日現在)	得られた結果から、業務改善に向けた課題の抽出及び分析を行い、業務効率化に向けた方策を検討し実行する。また、チャットツール導入による職員間の意思疎通の効率化、モバイルパソコンと会議システムの導入によるペーパーレスの推進、業務詳細分析調査の実施とICTツールの導入を図る。			

行財政改革の視点2 持続可能な財政運営

1 市税等の収納率の向上

(1) 収納率の向上

取組項目名	収納率の向上			管理番号	34
所管部局	税務部（税制課、納税管理課、納税推進課） 福祉保険部（介護保険課） 建築部（市営住宅課） 上下水道部（料金課） 市立旭川病院事務局（医事課）			財源確保目標額	172,706千円
令和元年度までの経過や背景	<p>【市税及び国民健康保険料】                      滞納整理業務の効率化や納期内納付の推進により、前プログラムにおいて目標値を達成した。一方で、道内市や中核市との比較では、依然として低水準にあることから、引き続き向上に努めなければならない。</p> <p>【介護保険料】                      滞納世帯の戸別訪問による納付督促活動と督促状及び年2回の催告書発送を継続し収納率の向上を目指した。</p> <p>【住宅使用料】                      嘱託職員の活用等による納入督促及び滞納者に対する法的措置の実施により、滞納整理の強化を図った。また、退去者の滞納家賃について、債権回収会社に委託し、収納に努めた。</p> <p>【水道料金及び下水道使用料】                      未納者に対し、催告等の通知を行い早急な納入を促す。その後なお未納が続いた場合は、給水停止実施による納入指導及び滞納処分として債権差押を実施してきた。</p> <p>【病院診療費】                      これまで、未納者に対する納入督促を専従とする嘱託職員1人を雇用し、滞納整理に努めていたが、再三の督促にも応じない困難事例があった。</p>				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	実施	→	→	→	
実績	<p>【市税及び国民健康保険料】                      初期段階の滞納に対する職員を増やすとともに、文書及び電話などを活用した催告業務については、早期着手を徹底することで、納付相談機会を確保し、滞納者の状況に応じた効率的・効果的な滞納整理業務を行った。また、引き続き、納期内納付の推進のため、テレビなどでのPR放送や納税通知書送付の際に口座振替依頼書を同封するなど口座振替の利用促進を図ったほか、SMS送信サービスを利用した納付勧奨の実施に向けた検討を行った。</p> <p>【市税】                      98.61%（現年度分）                      17.47%（滞納繰越分）</p> <p>【国民健康保険料】                      94.59%（現年度分）                      26.71%（滞納繰越分）</p> <p>【介護保険料】                      従来の納付督促活動に加え、催告書発送回数を年3回としたほか、令和2年度相当分保険料から延滞金計算を開始した。                      99.24%（現年度分）                      22.35%（滞納繰越分）</p> <p>【住宅使用料】                      会計年度任用職員の活用等による納入督促、滞納者に対する法的措置の実施、退去者の滞納家賃の債権回収会社への収納委託等により、収納率の向上と滞納整理の強化を図った。                      99.20%（現年度分）                      11.65%（滞納繰越分）</p> <p>【水道料金及び下水道使用料】                      収納率の向上については、給水停止を行い、窓口等において納入相談、納入指導を行ったほか、滞納処分を行い債権の保全・回収に努めた。</p> <p>【水道料金】                      90.66%（現年度）                      92.32%（滞納繰越分）</p> <p>【下水道使用料】                      90.54%（現年度）                      84.86%（滞納繰越分）</p> <p>【病院診療費】                      診療費の未納者に対する納入督促を専従とする会計年度任用職員1人を雇用し、滞納整理の強化に努めた。また、診療費等未収金において債権管理回収業務の外部委託（弁護士法人への委託）を開始（令和2年3月）した。                      98.8%（現年度分）                      46.28%（滞納繰越分）</p>				

進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額 (当初予算時)				
今後の予定 (令和3年4月1日現在)	<p>【市税及び国民健康保険料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、初期段階の滞納への対応や納期内納付説明の徹底を図るとともに、滞納に係る状況に応じた効率的な業務体制を整える。</li> <li>引き続き、当初納税通知書に口座振替依頼書を同封するなど、口座振替の促進を継続する。</li> <li>令和3年10月からSMS送信サービスを利用した納付勧奨を実施する。</li> </ul> <p>【介護保険料】</p> <p>令和3年4月1日現在の第1号被保険者数は112,962人。その約9割は特別徴収（年金からの引き去り）であるが、残り約1割の普通徴収対象者について、口座振替の勧奨を行うとともに、滞納となっている被保険者への早期アプローチにより介護保険料納入の必要性と未納期間に応じて課せられる給付制限について周知に努め、収納率の向上を図っていく。</p> <p>【住宅使用料】</p> <p>会計年度任用職員の活用等による納入督促及び滞納者に対する法的措置を実施する。また、退去者の滞納家賃の収納業務を弁護士法人に委託することにより、収納率を向上させる。</p> <p>【水道料金及び下水道使用料】</p> <p>収納率向上のため、給水停止による納入指導及び滞納整理等を継続して実施する。</p> <p>【病院診療費】</p> <p>滞納整理を担当する正職員1人と専従の会計年度任用職員1人による督促・徴収体制とともに、診療費等未収金において債権管理回収業務の外部委託（弁護士法人への委託）を継続し、更なる徴収率の向上に努める。なお、診療費等のスマートフォン決済（専用アプリで表示されるQRコードを使用した指定代理納付業務）による納付を開始し、受診者の利便性の向上を図るとともに、未収金の抑制につながる取組を進めている。</p>			

(2) 債権管理業務の効率化と体制の見直し

取組項目名	債権管理業務の効率化と体制の見直し		管理番号	35
所管部局	総務部（行政改革課） 税務部（納税管理課、納税推進課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	市税と国民健康保険料の徴収を一元化したほか、税務部を設置し、保育料の一部を税務部に移管できる体制とした。また、職員研修の開催や債権管理マニュアルの策定・改訂により債権管理適正化に取り組んできた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	実施	→	→
実績	他中核市の調査結果を参考として、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の一部を税務部に移管する手法について関係部局と協議した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和3年度から後期高齢者医療保険料及び介護保険料の一部を税務部に移管して債権管理を進める。			

2 受益者負担の適正化

(1) 使用料、手数料等の見直し

取組項目名	受益と負担の適正化に向けた使用料、手数料等の見直し		管理番号	36
所管部局	総合政策部（財政課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	平成29年10月に策定した「受益と負担の適正化に向けた取組指針（改訂版）」に基づき、令和元年度に使用料・手数料の見直しを行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	→	実施
実績	令和2年4月から新たな料金を設定した。			
進行状況	実施年度未到来			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和5年度 料金見直し作業 令和6年度 料金改定			

(2) 駐車場の有償化

取組項目名	職員用駐車スペースの有償化		管理番号	37
所管部局	総務部（公共施設マネジメント課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	平成27年度に職員を対象としたアンケートを実施し、職員の自家用車の駐車場の現状把握・意見聴取のほか、中核市及び道内自治体の取組状況の調査等を実施し、取組内容について、庁内関係部や職員団体と協議を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	引き続き関係部局と協議を行った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	関係部局との協議を引き続き行うとともに、他都市の状況調査を実施する。			



取組項目名	来庁者用駐車場の管理方法等の見直し		管理番号	38
所管部局	総務部（管財課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	新庁舎建設後に整備する新駐車場での運用開始に向け、検討事項の整理と作業スケジュールを検討した。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	→	→
実績	<p>新駐車場での運用に向け、引き続き検討事項の整理と作業スケジュールの検討を行った。</p> <p>また、新駐車場の開設により隣接する7条駐車場の経営に影響が及ぶことから、老朽化が進む7条駐車場の今後の在り方等も検討が必要のため、運営上の課題の洗い出しや、運営に関連する情報収集等を行った。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和7年度に予定されている新駐車場の開設に合わせ、引き続き有料化手法等の検討を行う。関連する7条駐車場については、新駐車場設置に係る影響等の課題や関連する情報を整理し、今後の在り方を検討していく。			

取組項目名	市営住宅駐車場の有料化の促進		管理番号	39
所管部局	建築部（市営住宅課）		財源確保目標額	4,193千円
令和元年度までの経過や背景	北彩都団地駐車場有料化の継続実施とともに、他都市への調査等を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>北彩都団地駐車場有料化の継続実施とともに、第2豊岡団地駐車場の有料化の方向性について、第2豊岡団地の入居者へ説明を行った。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和4年秋に供用開始予定の第2豊岡団地駐車場の有料化に向け、管理手法や駐車場使用料の検討を行う。			

### 3 その他収入の確保

#### (1) 多様な取組による収入の確保

取組項目名	公金及び基金の効果的かつ効率的な運用		管理番号	40
所管部局	会計課 総合政策部（財政課）		財源確保目標額	700,000千円
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>基金等の公金の運用について、安全を確保した上で効果的かつ効率的な運用をした。</li> <li>近年、ふるさと納税による寄付が増えており、特定目的基金への積立ても増加していることから、基金の目的に沿った事業の財源として基金の取崩しを行っている。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>引き続き、市全体の公金状況集計表を作成し、大口定期、譲渡性預金を活用するなどして、より有利な公金運用に努めた。</p> <p>令和3年度予算編成において、基金の目的に沿った事業の財源として、一般会計で管理する20基金の取崩しを予算計上した。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	2,787千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、安全性を確保しながら、債権管理など、より効果的な公金運用を検討する。</li> <li>引き続き、基金残高を踏まえながら、基金の目的に沿った事業の財源として活用する。</li> </ul>			

取組項目名	ふるさと納税の推進		管理番号	41
所管部局	税務部（税制課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<p>寄附金使途を明示した寄附募集への転換、ターゲットに応じたPRの展開、寄附方法の拡充に係る業務委託及び返礼品公募の見直しなどに取り組み、寄附実績増加に努めた。</p>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>【寄附金使途の見える化・分かる化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドファンディング型寄附方法の検討</li> <li>多様な使途設定（寄附金の有効活用）に向けた方法の検討及び整理</li> <li>基金所管課における取組内容のPR強化</li> </ul> <p>【効果的・戦略的PRの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寄附受付ポータルサイトの機能を活用した情報発信</li> <li>PR冊子の内容更新及び送付</li> <li>リーフレットの配付</li> <li>SNS等を通じたPR</li> <li>連続寄附者へ向けたイベントの検討</li> </ul> <p>【魅力ある返礼品の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者訪問による返礼品の掘り起こし</li> <li>寄附金額区分の変更</li> <li>受注が無かった返礼品の整理</li> </ul> <p>【寄附実績】</p> <p>寄附件数 119,976件 （前年度の1.48倍）</p> <p>寄附金額 1,801,357,347円 （前年度の1.37倍）</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄附金使途の見える化・分かる化のさらなる推進</li> <li>効果的・戦略的PRの推進</li> <li>魅力ある返礼品の拡充（体験型返礼品の拡充）</li> <li>寄附者の利便性向上と事務作業の見直し</li> <li>連続寄附者に対する交流イベントの実施</li> <li>クラウドファンディング型寄附の実施</li> </ul>			

取組項目名	クラウドファンディングの活用検討		管理番号	42
所管部局	総合政策部（政策調整課，財政課） 税務部（税制課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	厳しい財政運営が続く中、財源確保が大きな課題となっている。あさひかわ応援寄附金（ふるさと納税）の寄附金使途の見える化・分かる化の推進に向けた取組の一つとして、クラウドファンディング型の寄附募集の検討を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討・実施	→	→	→
実績	クラウドファンディング型寄附募集の手法等について検討及び関係部局間での協議を実施した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、関係部局間での協議等を行い、クラウドファンディングの活用を検討する。			

取組項目名	観光振興に係る新たな財源の検討		管理番号	43
所管部局	観光スポーツ交流部（観光課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	安定的かつ持続的な観光振興を図るために必要な財源の在り方を検討するため、庁内関係部局で構成する「宿泊税を含む観光財源の在り方の検討に係るワーキンググループ」を令和元年8月に設置し、同年9月から11月まで計3回、検討会議を開催し、令和2年1月に検討報告書を取りまとめた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、今後の検討の進め方について見直す必要が生じたことから、今後の検討に係る本市の考え方について協議するため、庁内関係部局との検討会議を開催し、方向性を整理した。			
進行状況	予定より遅れている			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、宿泊事業者など観光事業者等との意見交換のほか、宿泊税導入に向けて必要不可欠な北海道や他都市との協議が停止している状況にあり、宿泊税を含む観光財源の在り方の検討について議論を続けていくことが困難であるため。			
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和3年度は、（仮称）旭川市観光振興条例検討部会で同条例の内容について検討を進めることとしており、その中で観光振興に係る財源についても検討を行う予定である。 その検討を踏まえたとで、今後、新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、本市への観光客及び観光宿泊客が一定程度の回復を迎える段階で宿泊事業者や他自治体との議論を進める。			

取組項目名	不用品等の資源化推進			管理番号	44
所管部局	会計課 総務部（管財課、庁舎建設課） 環境部（クリーンセンター）			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用品や廃棄物の資源化を推進し、売却収入の確保に努めた。</li> <li>・令和5年の新庁舎への移転に伴い、廃棄備品が大量に発生すると予見されることから、この廃棄備品の売払い等について検討した。</li> <li>・「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」に含まれる資源化可能なごみについて、市内の公共施設や障害者施設等を回収拠点として、広く資源物の回収等を行ったほか、剪定枝の戸別収集、粗大ごみの解体等に取り組み、資源化を進めた。</li> </ul>				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	実施	→	→	→	
実績	<p>新庁舎移転時における備品等の不用品の売却について、関係課と課題の整理、検討を行うとともに、売却不能な什器類については産廃処分を行った。</p> <p>廃食用油、布類、小型家電等の拠点回収、剪定枝戸別収集、粗大ごみ（木質類・金属類）資源化の継続実施</p>				
進行状況	予定どおり進んでいる				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由					
財源確保額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎移転前により生じる不用品について、売却を行い、収入を得る予定。新庁舎移転に伴う廃棄備品及び転用備品の整理、不用品の売払い方法等の検討を行うとともに、売却処分ができない什器類については廃棄を行う。</li> <li>・物品量調査を通じて廃棄が必要な什器類の種類、量などの詳細を把握し、より有効な処分方法について調査・研究を行う。</li> <li>・引き続き、廃棄物の資源化に向けた取組を推進する。</li> </ul>				

取組項目名	市有財産を活用した収入の確保			管理番号	45
所管部局	総合政策部（広報広聴課） 総務部（行政改革課） 環境部（クリーンセンター） 各部局			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的に収入を確保するため、市ホームページ及びごほう旭川市民、公用車等に広告を掲載しているほか、令和元年度からは、ごほう旭川市民の誌面の一部に「旭川市社会福祉協議会」の広報を有償で掲載している。</li> <li>・市内2施設にネーミングライツを導入した。</li> <li>・自主財源を確保するため、本市の家庭ごみ有料指定袋や、各家庭に配付するごみ分別収集カレンダー、地域や公共施設等の清掃時に活用する地域清掃・ボランティア清掃ごみ袋への広告掲載を行った。</li> </ul>				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	実施	→	→	→	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市ホームページ及びごほう旭川市民、公用車等に広告を掲載</li> <li>・令和元年度に引き続き、広告付きAEDの導入を検討したが新型コロナウイルスの影響により、実現しなかった。ネーミングライツについては、募集方法等の見直しを検討した。</li> <li>・指定ごみ袋本体及び外袋への広告掲載の実施</li> <li>・家庭ごみ分別収集カレンダーへの広告掲載の実施</li> <li>・地域清掃・ボランティア清掃ごみ袋本体への広告掲載の実施</li> </ul>				
進行状況	予定どおり進んでいる				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由					
財源確保額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組を継続するほか、広告募集の案内を強化するなど、自主財源の確保に努める</li> <li>・ネーミングライツの募集方法等の見直し</li> <li>・新たな広告掲出手法等の検討</li> </ul>				

取組項目名	公有財産の売却及び有償貸付の促進		管理番号	46
所管部局	地域振興部（地域振興課） 総務部（公共施設マネジメント課）		財源確保目標額	349,000千円
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休地や用途廃止となった未利用建物の売却及び有償貸付を進めた。</li> <li>・駅周辺開発事業用地の残り2件について、国及び道に対し公共利用の意向確認を実施したが、いずれも取得希望なしとの回答により、一般競争入札により売却を実施した。</li> <li>・一般競争入札により、上記物件2件のうち1件について落札者を決定した。 所在：宮下通11丁目2番 面積：3041.67㎡ 売却額：157,000,001円</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休地や用途廃止となった未利用建物の売却及び有償貸付を進めた。</li> <li>・令和元年度に入札不執行となった駅周辺開発事業用地の残り1件について、売却時期を検討し、一般競争入札により再売却を実施したが、入札参加申込がなく入札不執行となった。 所在：宮下通12丁目1番 面積：7,693.98㎡ 最低基準価格：389,700,000円</li> <li>・宮下通12丁目の土地について、行政財産の目的外使用許可により、売却手続や用途・目的を妨げない範囲で短期の使用を許可し、有効活用した。 許可件数：19件 使用料収入：1,481,706円</li> </ul>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	396,303千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公有財産の有効活用を図るため、関係課と協議し条件などを整えながら、引き続き、遊休地等の売却や有償貸付を進めるとともに、効果的な売却や貸付手法の検討を行う。</li> <li>・駅周辺開発事業用地残り1件について、売却に向けた時期等の検討を行う。</li> </ul>			

#### 4 事業・補助金等の見直し

##### (1) 事業の見直し

取組項目名	施策評価及び行政評価の実施		管理番号	47
所管部局	総合政策部（政策調整課） 総務部（行政改革課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に基本政策ごとの評価を実施し、その結果を踏まえ、令和元年度に基本計画を改定した。また、推進計画については、4年間の計画とし、毎年度見直している。</li> <li>・効果的で効率的な行政サービスの提供と市政における透明性を確保するため、市が実施する事務事業又は行財政改革の状況を自ら評価する取組として平成12年度から行政評価を実施してきた。平成29年度からは、評価の決定に当たって、客観性や精度を高めるために、標記委員会（附属機関）を組織し、様々な行政課題について調査審議を行ってきた。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>総合計画にて設定した成果指標の達成を目指し、推進計画における各部事業について、評価指標の基準値に対する現状値を確認し、事業の改善を行った。</p> <p>効果的で効率的な行政サービスの提供と市政における透明性を確保するため、市が実施する事務事業又は行財政改革の状況を自ら評価する取組として平成12年度から行政評価を実施してきた。平成29年度からは、評価の決定に当たって、客観性や精度を高めるために、標記委員会（附属機関）を組織し、様々な行政課題について調査審議を行ってきた。</p>			
進行状況	予定より遅れている			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由	行政評価として補助金評価を予定していたが、コロナ禍を受けて一年延期することとした。			
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画に掲げる目指す都市像の実現に向けて、基本計画のもと、本市を取り巻く課題に的確に対応していくとともに、市民をはじめ、関係者と連携を図りながら、着実に計画を推進する。</li> <li>・令和3年度は、補助金評価をテーマに行政評価を実施する。</li> </ul>			

取組項目名	経常費の抑制		管理番号	48
所管部局	総合政策部（財政課）		財源確保目標額	360,000千円
令和元年度までの経過や背景	厳しい財政運営が続く中、財源確保が大きな課題となっている。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	令和3年度予算編成において、事務事業の見直しにより、内部管理経費など経常費の削減に取り組んだ。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	62,151千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、経常費の削減に努める。			

取組項目名	臨時費の抑制		管理番号	49
所管部局	総合政策部（財政課）		財源確保目標額	640,000千円
令和元年度までの経過や背景	厳しい財政運営が続く中、財源確保が大きな課題となっている。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	令和3年度予算編成において、事務事業の見直しにより、内部管理経費など臨時費の削減に取り組んだ。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	42,963千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、臨時費の削減に努める。			

(2)各種補助金等の見直し

取組項目名	補助金交付基準に基づく補助金等の適正化		管理番号	50
所管部局	総合政策部（財政課） 各部局		財源確保目標額	90,000千円
令和元年度までの経過や背景	補助金交付基準に基づき、所管部局による補助金評価は毎年度、外部機関による補助金評価は4年に1度実施している。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	所管部局による補助金評価を行った。			
進行状況	予定より遅れている			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由	令和2年度に外部機関による補助金評価を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症への対応を優先し、実施を見送ったため。			
財源確保額（当初予算時）	37,303千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和3年度に補助金の外部評価を実施する。			

## 5 公共事業費等の抑制

### (1) 公共事業費等の抑制

取組項目名	公共事業費等の抑制		管理番号	51
所管部局	総合政策部（財政課）		財源確保目標額	1,944,000千円
令和元年度までの経過や背景	公共事業等調査などにおいて、事業の必要性や緊急性等から、公共事業費等の削減・平準化を実施している。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	公共事業等調査などにおいて、事業の必要性や緊急性等から、公共事業費等の削減・平準化を実施した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	1,009,746千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、事業の必要性や緊急性等から、公共事業費等の抑制に努める。			

取組項目名	市債発行の抑制		管理番号	52
所管部局	総合政策部（財政課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	公共事業等調査などにおいて、事業の必要性や緊急性等から、公共事業費等を削減・平準化し、建設事業等債の発行を抑制している。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	事業の必要性や緊急性等から、公共事業費等を削減・平準化したことにより、建設事業等債の発行額を予算ベースから9億1千万円削減することができた。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、建設事業等債の発行抑制に努める。			

取組項目名	公債費（利子）の軽減		管理番号	53
所管部署	総合政策部（財政課）		財源確保目標額	271,000千円
令和元年度までの経過や背景	長期債の民間資金については、できるだけ低い利率による借入れを行うため、銀行等から提示された利率等の条件を勘案し、借入先を決定している。 一時借入金については、基金の繰替運用を基本としている。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	長期債の民間資金については、できるだけ低い利率による借入れを実現するため、銀行等から提示された利率等の条件を勘案し、借入先を決定した。 一時借入金については、主に基金の繰替運用で資金調達した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	144,527千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、有利な条件による借入れを検討する。			

## 6 特別会計繰出金の抑制

### (1) 特別会計繰出金の抑制

取組項目名	特別会計繰出金の抑制		管理番号	54
所管部署	総合政策部（財政課）		財源確保目標額	372,000千円
令和元年度までの経過や背景	事業の見直しや基金の活用等により、繰出金の抑制に努めてきた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	各特別会計の収支状況等を踏まえ、繰出金の令和3年度予算を決定した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	44,981千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、各特別会計の収支状況等を踏まえ、繰出金の抑制に努める。			



## 7 公営企業の経営の健全化

### (1) 病院事業の経営の健全化

取組項目名	経営計画の推進と次期計画の策定		管理番号	55
所管部署	市立旭川病院事務局（経営管理課、医事課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種による経営改善会議を実施してきたほか、診療科ごとの収益・費用を分析して院内で共有し、収益増や経費削減など黒字化に向けた検討を進めてきた。</li> <li>中期経営計画では毎年度数値を見直してきた。</li> <li>令和元年度は、医師不足による産婦人科の病棟休止など、資金収支の悪化が見込まれたため、令和元年度に3億円、令和2年度に1.5億円を運営補助として一般会計から繰り入れた。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、外来と入院診療の制限に伴う患者数の減による収益悪化が予想されたが、産婦人科などの医師の確保、新たな加算による収益増の取組のほか、感染対策のための補助金等を最大限活用したことなどにより、平成24年度以来の単年度資金収支黒字化を達成することができた。</p> <p>また、中期経営計画の数値を見直すとともに、次期計画策定に向けた準備を進めた。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>単年度資金収支で黒字を達成したものの、依然として経営状況は厳しいことから、収益増や経費削減に向けて検討し、実施する。</li> <li>次期計画の策定に向けて経営委員会等を活用し、計画の見直しを進める。</li> </ul>			

取組項目名	医療体制の充実		管理番号	56
所管部署	市立旭川病院事務局（経営管理課）、市立旭川病院地域医療連携課		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<p>急性期治療を担う当院と地域のかかりつけ医との役割分担を図り、適切で効率的な医療を地域全体で提供する医療（地域完結型）を推進するため、他医療機関との連携に取り組んできた。また、在宅医療・福祉介護を担う機関との連携強化を図ってきた。</p> <p>また、医師の確保について、常勤の整形外科医確保を目指したが確保できなかったため、大学や民間からの出張医の確保により外来診療体制の強化を図った。産婦人科医の退職等により分娩休止となったことから、分娩再開に向け医師の確保を目指した。</p> <p>看護師について、必要数を採用することができず、人材の確保が課題となった。</p>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<p>登録医制度の継続、ICT活用による診療情報の共有、連携広報紙による情報発信等により、連携を確保・強化した。例年、連携強化と地域の医療水準向上を目的に実施してきた医療従事者向け研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部WEBによる研修動画配信の実施にとどまった。</p> <p>また、医師について、産婦人科医を令和2年4月から段階的に確保し、11月から分娩を再開することができた。</p> <p>看護師について、奨学金制度の創設やSNSを活用した職員の募集活動などを行い、採用試験を複数回実施した結果、令和3年当初において計画看護師数を充足する見込みとなった。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きかかりつけ医との連携を確保・強化し、適切で効率的な医療の提供を推進する。</li> <li>WEB利用等による研修の実施を通じて、地域の医療・福祉・介護の連携推進と水準向上に貢献する。</li> <li>たいせつ安心 i 医療ネットへの参画を続け、患者情報の共有連携を促進する。</li> <li>確保することができていない整形外科医について、引き続き確保を目指す。</li> <li>看護師や医療技術職員について、要員計画どおりの採用を行い、医療体制の充実を図る。</li> </ul>			

## (2) 上下水道事業の経営の健全化

取組項目名	財政計画の推進と次期計画の策定		管理番号	57
所管部局	上下水道部（経営企画課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	上下水道事業審議会での審議や、意見提出手続に寄せられた意見を踏まえ、令和2年3月に、「水道事業・下水道事業 中期財政計画（令和2～5年度）」を策定した。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	水道・下水道事業を総合的かつ計画的に推進するための指針である「旭川市水道・下水道ビジョン」で設定した重点事業について、令和元年度の取組と令和2年度の見込みを調査し、進捗管理を行ったうえで、財政計画に基づき令和3年度予算を編成した。 また、令和4年度に予定している料金体系の見直しについて検討した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和6年度から9年度までの次期財政計画を、令和5年度に策定する。			

取組項目名	水道局の組織体制の見直し		管理番号	58
所管部局	上下水道部（総務課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	中期財政計画策定に当たり、継続的・安定的・効率的な経営に向けた組織体制について検討してきた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討・実施	→	→	→
実績	年度当初、業務見直し等により人員削減を伴う機構改革を実施した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	組織や配置人員数などの検証及び必要な見直しを継続する。			

取組項目名	上下水道の料金体系の見直し		管理番号	59
所管部局	上下水道部（料金課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	令和2年度から令和5年度までの中期財政計画において、令和4年度末に資金不足が生じる見込みであることから、水道局内において料金体系・減免制度見直しの検討を進めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	水道料金・下水道使用料の見直しについて、上下水道事業審議会で諮問を行い、審議を進めた。 減免制度の見直しについて、福祉施策として検討し、見直しの方針策定の準備を行った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道事業審議会での審議、答申</li> <li>上下水道料金及び減免制度見直し案の策定</li> <li>各種団体との意見交換</li> <li>意見提出手続、市民説明会、公聴会等の実施 など</li> </ul>			

行財政改革の視点3 多様な主体との連携・協働によるまちづくり

1 連携・協働によるまちづくり

(1) 連携・協働の推進

取組項目名	地域拠点施設の機能向上			管理番号	60
所管部局	市民生活部（市民活動課、地域まちづくり課、各支所）			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等が主体的にまちづくりに取り組むため、住民の主体的な活動拠点となる施設の在り方を検討した。</li> <li>・R1には、緑が丘地域の新たな活動拠点となる緑が丘地域活動センターの供用を開始したほか、西神楽農業構造改善センター内への西神楽支所等の移転及び地域の多様な活動に活用できるスペースの整備のための増改修工事並びに支所移転後の庁舎解体工事に係る実施設計を完了した。</li> <li>・安心・安全な地域づくりの拠点として、避難所に指定されている住民・地区センターの防災機能の維持及び強化のため、災害対応型自動販売機の配置しているほか、速やかに避難所開設の準備等が進められるよう、必要な防災資材の一部を施設に配置した。</li> <li>・将来の人口減少、財源不足に備え、地域でのつながりを深め、行政が行き届かない部分を地域で補うことができるような仕組み作りをしていく上で、地域の人と行政の橋渡し役としての拠点を目指し、その機能向上をソフト・ハード面において検討を進めてきた。</li> </ul>				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	実施	→	→	→	
実績	<p>西神楽農業構造改善センターを増改修し、地域の多様な活動に活用できるスペースを確保するとともに、改修部分に西神楽支所、講堂に西神楽公民館を移転し、賑わいのある地域拠点として令和3年3月8日供用開始した。</p> <p>地域拠点施設の管理運営に係る事務の効率化・円滑化を図るため、住民・地区センターの一部にインターネット環境を整備したほか、一部の地域集会施設において公共施設予約システムの導入について検討を進めた。</p> <p>中央図書館の緑が丘コーナーとして自動車文庫の巡回がある緑が丘地域活動センターに、センターの開館時は常に利用可能な図書返却ポストを設置した（令和3年4月1日利用開始）。</p> <p>各支所の拠点機能を生かし、地域まちづくり推進協議会において、地域の課題解決に向けた取組支援を行ったほか、各支所でまちづくり相談窓口の看板を掲げ、市民の「困った」に対応した。</p> <p>支所窓口サービス機能向上として、先進自治体を参考に、ベテランに頼らずとも職員と市民両者が目で見て確認しながら必要な手続きがわかるライフイベント毎の「支所窓口手続きチェックシート」を活用し、将来のタブレット申請に備えた取組を実施した。また、マイナンバー関連の手続きの簡略化を目指し、支所間で統一した手続きが可能となるよう協議を開始した。</p>				
進行状況	予定どおり進んでいる				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由					
財源確保額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の地域活動の促進に向け、拠点施設の機能の在り方について、公共施設等総合管理計画に基づく集会施設機能を有する公共建築物の考え方との整合性を確保しながら、引き続き検討していく。</li> <li>・引き続きインターネット環境の整備及び公共施設予約システムの導入について検討を進める。</li> <li>・地域のまちづくりの拠点施設として、地域まちづくり推進協議会のほか、地域の市民活動団体や地域包括支援センター等との連携を図り、地域づくりを支援する。</li> <li>・支所の窓口業務について、既に取り組んでいる、出生、婚姻、死亡等のライフイベント単位に複数の手続きが一度に可能なワンストップ窓口と対話する窓口を強みとしながら、新庁舎建設に伴う総合窓口体制とどのように差別化していくかの検討をしていく。</li> <li>・将来の窓口委託等に備え手続きの簡素化・簡略化・ICT化の検討を進める。</li> </ul>				

取組項目名	住民自治に関する組織体制等の見直し		管理番号	61
所管部局	市民生活部（市民活動課、地域まちづくり課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	地域主体のまちづくりの推進において、地域住民の課題解決やニーズに応じた各種取組への活動に対する支援を実施してきた。地域まちづくり推進協議会で共有した地域課題の解決に向けた取組への支援制度を拡充することで、地域活動団体の連携促進や事業活動の拡大につながるなど、地域自治の基盤となる体制づくりを進めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	町内会等への組織体制強化等の活動に対する支援、活動事例の紹介、組織運営に関する相談や情報提供を実施した。 地域まちづくり推進協議会の委員定数変更や、支援制度の拡充を行うなど、地域の実情に応じた連携強化や体制づくりを進めた。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	地域主体のまちづくりを推進するために、住民活動の主力である町内会、市民委員会への支援を引き続き実施していく。地域まちづくり推進協議会を通じて地域活動を支援し、引き続き、地域の実情に応じた連携強化や体制づくりを進めていく。			

取組項目名	除雪に係る管理委託の見直しと協働の推進		管理番号	62
所管部局	福祉保険部（長寿社会課） 土木部（雪対策課、土木事業所）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民による試行的な取組として「旭川市住宅前道路除雪モデル事業」を実施</li> <li>平成28年度に夏場業務（道路維持管理業務）の一部を除雪業務に組み入れた通年契約を導入したが、複数年契約については、関係団体と意見交換を重ねたものの、慎重な意見もあり、導入に向けた課題の検証にとどまった。なお、除雪に係る市民協働については、啓発パトロール、公園の雪押し場としての利用、除雪車両の貸出を推進したほか、道路除雪作業時に行っている住宅前道路除雪を地区住民の協力により行うモデル事業として試行的に実施した。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度のモデル事業を検証し、内容を一部変更し、町内会を中心とした地域住民等の協力による新たな取組として「高齢者等除雪支援事業」を実施</li> <li>除雪と道路維持業務を実施する通年契約を継続したほか、複数年契約に向けて関係団体へアンケート調査を実施するとともに、除雪地区の試行統合を実施</li> <li>地域まちづくり推進協議会を通じて、「違法駐車」や「雪出し禁止」などの啓発パトロール、地域の雪押し場としての公園利用、町内会等が自主的に道路の除排雪作業への除雪車両の貸出を実施</li> </ul>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪に係る市民協働が全市的に広がるよう取り組むとともに、高齢者等除雪支援事業の対象世帯の明確化に資する新たな対象要件の基準の導入に向けて、市民の合意形成を図るとともに、協力団体の拡大に努める。</li> <li>複数年契約の導入について、引き続き関係団体との協議を重ねるほか、複数年契約導入時に想定される課題の検証や、課題の一部解消に繋がると考えられる除雪地区の統合を試行する。</li> </ul>			

取組項目名	外郭団体と市との関わり方の見直し			管理番号	63
所管部局	総務部（行政改革課） 福祉保険部（長寿社会課）			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況を適宜把握し、見直しに向けた検討を進めてきた。</li> <li>・旭川市老人クラブ連合会自立化検討委員会での検討は継続しているものの、特に事務局の移転については、連合会の財政及びスペース確保の問題から、具体的な見通しが立っていない状況にある。</li> </ul>				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	実施	→	→	→	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期査察等を通じて、事務や経理状況をチェックするとともに、運営状況を把握した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、旭川市老人クラブ連合会自立化検討委員会を開催することができなかった。</li> </ul>				
進行状況	予定より遅れている				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由	連合会加入クラブ数及び会員数の減少が続いており、連合会自体の組織体制の維持強化を優先して対応すべきとの意見や、組織本体の弱体化を招くこととなるとの懸念が強く出されており、具体的な検討は進んでいない。				
財源確保額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、運営状況を適宜把握し、見直しに向けた検討を進める。</li> <li>・事務局自立化に向けて、旭川市老人クラブ連合会自立化検討委員会を中心に、執行体制や事業内容等の見直しについて検討するよう、引き続き働きかける。</li> </ul>				

取組項目名	災害時における自助・共助の取組の推進			管理番号	64
所管部局	防災安全部（防災課）			財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	各種防災講習、広報等により、災害リスクや避難行動について周知を進めるとともに、地域の訓練等の指導、支援を行った。				
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
計画	実施	→	→	→	
実績	防災講習、広報等で住民の避難行動についての周知を進めるとともに、避難時の感染症対策についても周知を図った。				
進行状況	予定どおり進んでいる				
進行状況が遅れている又は実施不可の理由					
財源確保額（当初予算時）					
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和3年度は、災害対策基本法の改正が予定されており、避難情報等の変更が行われることから、新たな避難情報等について防災講習、広報等を通じて周知を図る。				

取組項目名	協働の理解促進と意識の醸成		管理番号	65
所管部局	市民生活部（市民活動課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	協働事業提案制度採択事業の提案団体と担当部署を講師とした職員向け協働セミナーを実施し、協働の取組事例を紹介し、情報を共有することで協働に対する庁内の理解促進と意識醸成を図った。また、「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」において協働の機会を創出するとともに、採択事業の実施や成果報告会などを通じ、広く協働意識の啓発を図った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	職員の興味関心が高まるような新たな視点を加えて、職員向け協働セミナーを実施し、協働に対する庁内の理解促進と意識醸成を図った。また、「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」において協働の機会を創出するとともに、採択事業の実施やホームページに成果報告を掲載し、広く協働意識の啓発を図った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、協働に対する理解促進と意識啓発を図るため、職員向けセミナー及び「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」を実施する。			

取組項目名	民間企業等との連携・協力の推進		管理番号	66
所管部局	市民生活部（市民活動課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	民間企業との協働の一環として、㈱イトーヨーカ堂との包括連携協定を締結し、協定に基づく取組としてイトーヨーカドー旭川店内に「旭川市情報コーナー」を設置・運用することにより各部局における情報発信・イベント実施に活用するなど、民間企業との連携を図った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	市民等と市との協働による市民主体のまちづくりを推進するに当たり、民間企業等との連携協定の締結状況を把握するため、各部局における協定の締結状況や取組事例について調査を実施した。地域交流やインフラなど多様な分野で民間事業者との連携に基づき、活動を実施した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	引き続き、各部局における協定の締結状況や、取組事例の調査を行う。また、民間企業と市との連携を推進するため、本市における連携協定の基本的な考え方をまとめるとともに、連携協定に関する相談から連携事業実施までの一連の流れや事務処理手順、対応等を整理することで、協働によるまちづくりをより一層進めていく。			

## (2)市民参加の推進と情報共有

取組項目名	行政活動に対する市民の意見提出機会の確保		管理番号	67
所管部局	市民生活部（市民活動課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	これまで行われた意見提出手続（パブリックコメント）の中には、意見を求めるテーマや配布資料の内容から実施効果が薄いとと思われるものもあり、パブリックコメントそのものの形骸化を指摘する声が度々聞かれている。市民にとって意見を提出しやすく、実施効果が認められるようなパブリックコメントの在り方を検討することが求められている。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	市民参加の取組結果について、従来の担当課による自己評価に加え、附属機関（市民参加推進会議）による評価を実施した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	意見提出手続をより効果的に実施するため、事務取扱基準の一部見直しを含めた検討を進める。			

取組項目名	市民サービスに係る費用負担の見える化		管理番号	68
所管部局	総合政策部（財政課） 総務部（公共施設マネジメント課） 各部局		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の財政状況を市民に知っていただくため、広報誌による周知のほか、予算・決算をわかりやすく説明した冊子や統一的な基準による財務書類（地方公会計）を作成・公表している。広報誌では、除排雪やごみ処理など市民生活に身近なサービスに使われている予算の状況も掲載している。</li> <li>・公共建築物をはじめとする公共施設の現状や課題についてまとめた「公共施設白書」を作成・公表するとともに、市有施設の現状把握や施設運営における課題等の整理・検討のため、施設ごとに維持運営コストや利用状況等の情報をまとめた施設カルテを作成し、希望者に情報提供できるようにした。</li> </ul>			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌への掲載のほか、予算・決算をわかりやすく説明した冊子や統一的な基準による財務書類（地方公会計）を作成・公表した。</li> <li>・令和2年度版の「公共施設白書」を作成し、ホームページで公表するとともに、施設ごとに維持運営コストや利用状況等の情報をまとめた施設カルテを作成し、希望者に情報提供できるようにした。</li> </ul>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き市民サービスの費用負担の見える化を進める。</li> <li>・引き続き公共施設白書及び施設カルテを作成するとともに、施設カルテについても公共施設白書と同様、公表について検討する。</li> </ul> ※令和3年度は、公共施設等総合管理計画の改訂年度に当たるため、内容が重複する公共施設白書の作成を見合わせる。			

## 行財政改革の視点4 職員の能力及び組織力の向上

### 1 職員の能力向上

#### (1)人材の確保と育成

取組項目名	多様な人材の確保と効果的な採用手法の検討		管理番号	69
所管部局	総務部（人事課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	保健師と社会福祉職について平成30年度から導入した専門試験を引き続き実施、また社会福祉職と獣医師について大学で説明会を実施するなど、専門性の高い職員と定数の確保に努めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	受験者数の減少に備えた人物重視の選考の推進、土木職の人材確保、試験事務のスリム化をテーマに事業を実施した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	職員採用に係るPRの強化や効果的な採用活動の実施により安定的な採用を図るとともに、多様化、複雑化する行政需要に対応できる高い資質と意欲を有する人材の確保に努める。			

取組項目名	時代の変化に的確に対応できる人材の育成		管理番号	70
所管部局	総務部（人事課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	職員として目指すべき職員像を示し、効果的な人材育成を図ることを目的に平成28年度に改訂した「旭川市人材育成基本方針」に基づき、職員の能力向上やノウハウの継承につながる研修を実施するなど、効果的な人材育成に努めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	業務の多様化及び行政需要の高度化、複雑化等に対応するため、研修科目・研修項目を適宜見直すとともに、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、実務研修の2項目をオンライン化し、集合研修以外の研修体系を構築した。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	多様化、複雑化する行政需要に的確に対応する職員を育成するため、引き続き、研修項目の見直しを検討しながら実施を進める。			



## (2) 人事評価制度の活用

取組項目名	人事評価制度の活用		管理番号	71
所管部局	総務部（人事課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	新人事評価システムの運用を一般職（管理職以外の職員）について、平成28年10月から本格導入し、管理職については平成30年1月期から昇給への反映を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	人事評価制度を運用し、管理職の勤勉手当及び定期昇給に評価結果を反映した。管理職以外については、人材育成を目的とした面談を通じ、職員の職務意欲向上等に取り組んだ。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	国の制度改正の動向を注視するとともに、制度上の課題について検討し、安定した運用が行えるように取り組む。			

取組項目名	給与制度等の見直し		管理番号	72
所管部局	総務部（職員厚生課）		財源確保目標額	278,000千円
令和元年度までの経過や背景	平成23年度から平成25年度までの間に実施した昇給抑制の効果が継続している。昇給抑制の回復措置については、本市の給与水準や財政状況を考慮しながら、職員団体と協議し検討を続けており、令和元年度中に一部回復措置を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討・実施	→	→	→
実績	昇給抑制の効果継続（令和2年度において抑制回復措置実施せず）			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	171,600千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	昇給抑制の回復措置については、令和3年度においても職員団体と協議することとなっているが、回復の実施に当たっては本市の給与水準や財政状況を考慮しながら検討する。			

## 2 組織力の向上

### (1) 機能的な組織体制と弾力的な運営

取組項目名	機能的な組織体制の構築		管理番号	73
所管部局	総務部（行政改革課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	社会情勢の変化や新たな政策課題に的確に対応するため、担当部長の配置、課の再編等の見直しを行ってきた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討・実施	→	→	→
実績	新型コロナウイルス感染症をはじめとした課題に対応するため、新型コロナウイルス感染症対策担当部長及び新型コロナウイルス感染症対策監を新たに設置したほか、清掃施設整備課の新設などの見直しを行った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	社会情勢等の変化に対応するため、必要に応じて組織体制の見直しを検討していく。			

取組項目名	ワーキンググループ等を活用した弾力的な運営		管理番号	74
所管部局	総務部（行政改革課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	総合窓口機能等検討ワーキンググループによる新庁舎窓口機能の検討など、部局を横断して課題解決を進めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	業務改善推進ワーキンググループにおける検討を踏まえ、職員業務改善推進制度を見直すこととした。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	多様化・複雑化する行政需要に対応するため、引き続き、ワーキンググループ等を活用するなど弾力的な組織運営を推進する。			

## (2) 職員の配置と勤務体制の見直し

取組項目名	職員の適正配置の推進		管理番号	75
所管部局	総務部（人事課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	令和2年度当初における一般会計職員数（再任用を含む）を平成28年度当初比で50人削減する目標に対して、47人削減となった。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	業務のアウトソーシング、事務改善、事業の見直しのほか、会計年度任用職員の活用等により、職員の適正配置を進めた。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	必要な職員数を確保しながら、引き続き職員の適正配置を進める。			

取組項目名	再任用職員と会計年度任用職員の適正配置の推進		管理番号	76
所管部局	総務部（人事課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	令和2年度当初においては、任期更新者71人（フルタイム70人、短時間勤務1人）とあわせて98人の再任用職員を任用し、各職場において活用。会計年度任用職員についても、各部署における人員や実施事業と実態を踏まえた上で、適正な人員配置に努めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	定年退職する職員の長年培った能力や経験を有効に活用するとともに、それらの引き継ぎなどを通して、再任用職員の効果的な活用を図った。また、常勤職員の欠員等に対応するため、適宜会計年度任用職員を配置した。 ＜再任用＞新規23人 継続71人（うち4名短時間）			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	再任用制度は、定年延長の制度完成まで形を変えながらも継続することが見込まれており、今後も再任用を希望する職員の適正配置に努めて、制度の効果的な活用を進めていく。また、会計年度任用職員については、制度の安定的な運用、計画的な処遇改善を図りながら、関係部局と連携して適正配置を進めていく。			

取組項目名	時間外勤務の管理の適正化		管理番号	77
所管部局	総務部（職員厚生課）		財源確保目標額	30,000千円
令和元年度までの経過や背景	時間外勤務管理方針に基づき時間外勤務の管理の適正化を図ってきた。 令和元年度は、働き方改革による時間外勤務の上限規制が導入されたことから、毎月所属長に対し所属職員の前月の勤務時間を示し、上限時間内で時間外勤務命令をするように通知している。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配当時間の10%以上を部で留保し、各課において執行見込みを作成する時間外勤務管理の取組を継続した。</li> <li>・毎月所属長に対し所属職員の前月の勤務時間を示し、上限時間内で時間外勤務命令をするように通知する取組を継続した。</li> <li>・前年度に上限時間を超えて時間外勤務を命令した所属長に対しヒアリングを行った。</li> <li>・令和2年度上半期で時間外勤務実績が多かった所属等の所属長に対し書面による調査を行った。</li> </ul>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）	4,459千円			
今後の予定（令和3年4月1日現在）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配当時間の10%以上を部で留保し、各課において執行見込みを作成する時間外勤務管理の取組を継続する。</li> <li>・毎月所属長に対し所属職員の前月の時間外勤務時間を示し、上限時間内で勤務命令をするように通知する取組を継続する。</li> <li>・前年度に上限時間を超えた時間外勤務の要因について整理、分析、検証を行うとともに、時間外勤務実績が多い所属等の所属長に対しヒアリングを行い、縮減に向けた取組の推進を図る。</li> </ul>			

取組項目名	多様な働き方の検討		管理番号	78
所管部局	総務部（人事課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	育児や介護等と仕事の両立を図るため、フレックスや在宅勤務など、多様な働き方について調査・研究してきた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	検討	→	実施	→
実績	<p>新型コロナ対策として試行した時差出勤・在宅勤務を通じて、課題の抽出、検討を行った。</p>			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	新型コロナ対策としての時差出勤・在宅勤務の試行は継続しており、本格実施した場合の課題について、引き続き検討する。			

(3) 組織のリスクマネジメント

取組項目名	内部統制に関する方針の策定		管理番号	79
所管部局	総務部（人事課 コンプラ担当）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	内部統制の方針策定等が努力義務とされたことから、改めて他都市の状況調査を行い、本市における方針策定の必要性や策定する場合のスケジュール、方針の内容等について検討を行った。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	内部統制制度庁内検討委員会を設置し、令和3年度の試行実施、令和4年度の本格導入に向けて検討を進めた。			
進行状況	予定より遅れている			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由	制度構築を行うに当たって、試行期間を設けることとしたため。			
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	令和3年度上半期に実施する試行実施の結果をもとに、制度の整備、方針の策定を行い、令和4年度の本格導入に向けた準備を進める。			

取組項目名	災害時における対応力の強化		管理番号	80
所管部局	防災安全部（防災課）		財源確保目標額	—
令和元年度までの経過や背景	地域防災計画等各計画に基づき、訓練等を通じて、災害対応力の強化を進めた。			
作業工程	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	実施	→	→	→
実績	強靱化地域計画の策定を完了し、平時からの防災・減災と、迅速な復旧・復興について対応力の強化を図った。			
進行状況	予定どおり進んでいる			
進行状況が遅れている又は実施不可の理由				
財源確保額（当初予算時）				
今後の予定（令和3年4月1日現在）	地域防災計画等の各計画及び策定した強靱化地域計画に基づき、防災訓練や計画の継続的な見直しを通じて、さらなる災害対応力の強化を図る。			

令和2年度決算では、住宅使用料の収納率や市債残高、財政調整基金残高などの数値が前年度比で改善している一方で、市税の収納率と繰出金は新型コロナウイルス感染症の影響等で数値が悪化しました。

本市は、収入全体に占める市税などの自主財源の割合が低く、地方交付税や国・道支出金に依存した脆弱な財政構造であることや、いまだ収束に至っていない新型コロナウイルス感染症対策への緊急的な財政出動に備えておく必要もあることから、引き続き、目標達成に向けて行財政改革推進プログラム2020の各種取組を進めていきます。

財政健全化指標の内容

指標		目標	達成度（成果）	令和2年度の説明
収 納 率	市 税	R5年度 97.9%	96.0% (R2実績)	コロナ禍による徴収猶予等のため、前年度から0.1ポイント悪化しました。
	住宅使用料	R5年度 84.5%	82.3% (R2実績)	納入督促及び法的措置の実施の推進により、前年度から1.6ポイント改善しました。
市債借入額 (一般会計・建設事業等債)		4年間(R2～R5年度) 450億円以内	—	R2年度からR5年度までの4年間で450億円以内とする目標に対して、R2年度の借入額は96億円となりました。
市債残高 (一般会計・建設事業等債)		R5年度末 1,135億円以下	1,122億円 (R2末残高)	市債借入額を元金償還額以下に抑制したため、前年度から21億円減少しました。
繰出金		R2～R5年度で 累計4億円の縮減	—	コロナ禍の影響による動物園事業特別会計等への繰出金が増えたため、財政収支見通しのR2年度予定額108億8千万円に対して、3億8千万円増の112億6千万円となりました。
財政調整基金		R5年度末残高 30億円以上	44億円 (R2末残高)	前年度の決算剰余金等を積み立てる一方で、取崩しを行わなかったため、前年度から6億円増加しました。
基金総額 (一般会計)		R5年度末残高 40億円以上	96億円 (R2末残高)	財政調整基金や新型コロナウイルス感染症対策基金等の残高が増えたため、前年度から10億円増加しました。

※ 市債借入額及び市債残高には、臨時財政対策債、R2減収補填債及び特別減収対策債を含みません。